



# よこはま

2019年 10月24日

第218号

日本労働組合総連合会神奈川県連合会  
横 浜 地 域 連 合

連絡事務所 〒231-0031 横浜市中区万代町 2-4-7  
横浜市技能文化会館 402号  
TEL. 045-641-6262 FAX. 045-641-6252

発行責任者 高橋 卓也  
編集責任者 高橋 直樹・柴田 康光

## 「安心・安全・安定の市政」「住みやすい横浜」をめざして 「2020年度に向けた政策・制度要求と提言」を横浜市へ提出

横浜地域連合は、9月2日(月)高橋議長以下、五役・地区連合代表、政策委員の出席により、連合神奈川とともに「2020年度に向けた政策・制度要求と提言」を横浜市へ提出した。

横浜地域連合高橋議長は「横浜地域連合は『働くこ』を軸とする安心社会の実現」をめざして、政策・制度要求の実現に向けての取り組みを進めてきた。今回の提言は、各地区連合、産別、構成組織から出された意見を盛り込み、53項目の課題について取りまとめた。政策実現に向けて誠意ある対応をお願いする。」と挨拶した。



高橋議長から林横浜市長へ要請書を渡す(手交式)

林市長は「今年も皆フードドライブ活動は、食品ロス削減と社会貢献につながる活動である。市内での認知度を高め、普及に取り組みたい。ハマ弁は夏季休業明けよりリニューアルを段階的に進める。献立内容の充実、当日注文の試行、一括注文の導入、温かいおかずの提供や利便性向上の取り組みも試行していく。強化地域計画は、安全で安心して過ごせる強靱な都市づくりを進めるため、平成30年度中の策定をめざしている。災害時を見据えた都市基盤整備や公共施設の保全・更新を進めるとともに、将来を担う子どもたちへの防災教育、地域における見守り活動の充実などの人づ

が、市内には大変多い。あらゆる世代の方へ就労支援を行い、労働者の確保についても整備を行う。安全安心にお暮らしいただけるよう努めていく。今後も働く場を支えていく。」と挨拶した。

## 連合政令指定都市地域協議会 第24回連絡会議(相模原市)

8月29日(木)から30日(金)にかけて、相模原市で「第24回政令指定都市地域協議会連絡会議」が開催され、横浜地域連合は高橋議長はじめ五役、地区連合代表、横浜市行政代表など12名が参加した。

「連合政令指定都市地域協議会第24回連絡会議」は、全国から約140名が参加し、「杜のホールはしもと」(相模原市)で開催された。

相模原地域連合の幸山隆事務局長の司会で開会し、はじめに開催地協を代表して、相模原地域連合の川崎晴彦議長が、相模原市の歴史と、相模原地域連合の組織や取り組みについて紹介を交えて挨拶した。続いて来賓の連合神奈川の吉坂義正会長代行、相模原市の森多可示副市長よりご挨拶をいただいた。

行政報告では、相模原市オリピック・パラリンピック推進課参事兼課長である廣田信之さんが、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた相模原市の取り組みについて、映像を交えて報告した。

休憩をはさみ、各地協報告が行われた。石狩地協の吉田事務局長からは、「北海道胆振東部地震」の被害状況と連合の取り組みについての説明があった。大阪地協の東事務局長からは、「どないなんねん!おおさか」と題し、大阪市の政治状況についての報告があった。岡山地連の伊丹事務局長からは、昨年の西日本豪雨の被害と復興状況について映像やデータをを用いて報告が行われた。

閉会后、バスで箱根に移動し、懇親会が開催された。

翌日は「相模原視察」、「箱根視察」、「野外交流」にわかれ、視察や交流を行った。

来年は「北九州市」で6月11日(木)から12日(金)にかけて開催される。また、連絡会議後の事務局長会議において、2022年の横浜開催が確認された。開催に向けて準備を進めていく。

引き続き行われた重点政策の説明では、加藤議長代行から、格差社会問題と安全安心な街づくりを視点に、①子ども虐待への対応、②喫煙禁止地区の拡大と禁止地区内の喫煙所の課題、③無電柱化の推進について確認をした。

### コラム「るーぷ」

私の小さい頃の「夢」は、プロ野球選手になることでした。小学校から野球をはじめ高校へも名門高校に推薦で入学し、勉強は二の次で日々野球に没頭していました。しかし高校に入りレベルの違いに気づき挫折してしまいました。その時の経験は私の人生にとって大変有意義な勉強をさせてもらったと今では感謝しています。「夢」をかなえることは、大変難しい道ですが、その過程も大変重要だと感じさせられる時間を過ごすことができました。

今では、地域のソフトボールチームの監督兼選手(メンバーが少ない時だけ)として、健康の為、地域のコミュニケーションを図るために毎週日曜日に汗を流しています。



副議長 山本 洋一

column "Loop"

# 2019ピースウィーク行動 —2020年までに地球上からすべての核兵器をなくそう—

8月3日(土)、JR桜木町駅前広場において「2019ピースウィーク行動」を実施した。猛暑の中、高橋議長はじめ五役、横浜市から渡辺副市長、立憲民主党と国民民主党の各級議員が参加した。

連合神奈川と横浜地域連合では、広島・長崎に原爆が投下され、多くの尊い命が奪われたこの時期を「ピースウィーク」と位置づけ、毎年「連合神奈川ピースウィーク行動」を実施している。  
高橋議長からの主催者代表挨拶、渡辺横浜市副市長からの挨拶では、平和の大切さを訴えるとともに、「一日も早く戦争や核兵器のない世界をつくらう」と呼び



挨拶する横浜市渡辺副市長



参加者の集合写真

かけた。  
その後のマイクリレーでも、立憲民主党と国民民主党の各級議員から、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を実現するための訴えが行われ、五役や議員を中心に「連合神奈川ピースウィーク」のロゴ入り丸うちわの配布も同時に行った。  
また今年、「核兵器廃絶1000万署名」にも取り組んだ。この署名は、5年に1度開催される「2020年核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議」にあわせて、核兵器廃絶を求める署名活動を行い、世界で唯一の戦争被爆国である私たちの願いを日本政府と国連に届けるものである。2015年のNPT再検討会議に向けた署名活動にお

## 大盛況!!第4回『恋活パーティー』開催!

8月31日(土)「第4回恋活パーティー」を横浜ベイシェラトンホテルで開催した。産別の枠を越え、普段関わることの少ない他労組の方との出会いの場をつくり、交流することを目的に、横浜地域連合結成25周年だった3年前から開催している。今回は男女合わせて約170名、スタッフを入れると約190名が参加する過去最大規模のパーティーとなった。

いては、最終的に7,180,103筆を集約している。現在各構成組織においても取り組みを進めているところである。皆さんのご協力をお願いいたします。



署名活動の様子



主催者挨拶をする高橋議長

過去3回開催し、参加者や構成組織から好評をいただいていた「恋活パーティー」を今年も開催した。五役産別から実行委員が集まり、前回のパーティーの反省を踏まえ、計画を立て準備を進めた。今年も会場



見た目も美しいたくさんの料理

を横浜ベイシェラトンホテルに変更し、パーティーの規模を拡大した。  
最初は少しかいた雰囲気もあったが、おいしい料理やお酒もあり、徐々に打ち解けて楽しく会話する様子



司会を務める副実行委員長

が会場のいたるところで見られた。普段なかなか知り合うことのできない他産別・他労組の方とたくさん出会い、交流してもらえようように、席替えの回数を増やし、フリータイムの時間も昨年よりも多く取った。パーティーのラストには今年新たに始めた「マッチングカード」を使ったカップリングを行った。12組のカップルが誕生し、抽選で賞品を贈呈した。



恋活パーティーの様子